

平成29年 上伊那地域振興局のおもなできごと

○ 平成29年を振り返り、主なできごとを次のとおり選定しました。

【上伊那地方事務所】(1月から3月)

月	内 容
2月	<p>上伊那の農業発展に功績があった方々の栄誉を称えるとともに、新たな農業政策に対する理解を深めるため、2月27日に約250名の参加者による集いを開催しました。</p> <p>「明日に翔け！上伊那ファーマーズの集い」の開催 (農政課)</p> <p>農業功績者への表彰や感謝状の贈呈と、上伊那農業高校の生徒による、農業高校と地域の関わりや活動について講演を行うとともに、有害鳥獣対策の事例発表や米粉を使った料理やスイーツの紹介・試食も行いました。</p>



【上伊那地域振興局】(4月から12月)

4月	<p>上伊那地域振興局の発足 (総務管理課)</p> <p>人口減少と少子高齢化が進む中、地域社会の維持・活性化のためには、地域の強みや特性を最大限に生かした地域づくりが求められており、県民に身近な現地機関が連携し、スピード感を持って主体的・積極的に地域課題の解決に当たるため、4月1日、上伊那地域振興局が発足し、新たな体制で業務をスタートしました。</p>	
7月	<p>中央アルプス自然公園保護・活用推進協議会の発足 (環境課)</p> <p>中央アルプス県立公園の将来を見据え、優れた自然や景観を保全しながら利用促進を図るため、中央アルプス山麓と周辺の自治体、国、県、山岳関係者、観光団体等で組織する協議会が7月27日に発足しました。</p> <p>11月8日には、国、市町村、学識経験者によるシンポジウムを開催し、中央アルプスの魅力の向上と地域づくりの推進に向けた取組について議論がなされました。</p>	
7月 ～ 9月	<p>信州デスティネーションキャンペーンの開催 (商工観光課)</p> <p>“世界級リゾートへ、ようこそ。山の信州”をテーマに大型観光キャンペーンが長野県で開催されました。</p> <p>上伊那地域では、JR東海の特別列車・飯田線リレー号の運行に併せ、地元の高校生が観光アテンダントとして地域の皆さんと協力し、乗客の皆さんと交流する「1000のありがとう」の取組を実施しました。</p> <p>乗客の皆さんのみならず、参加・協力いただいた皆さんから感謝の言葉が聞かれ、また、皆さんから「飯田線リレー号の奇跡」という声をいただくほど盛況なイベントとなりました。</p>	
8月	<p>伊那谷風土記街道周遊バスの運行 (企画振興課)</p> <p>上伊那地域を訪れた観光客に地域内で周遊していただくことを目的に、4つの観光拠点(大芝高原～はびろ農業公園みはらしファーム～かんでんばばガーデン～駒ヶ根高原)を広域的につなぐバスの実証運行を行いました。</p> <p>周遊バスは8月1日から8月27日の間、伊那谷の雄大なパノラマが広がる伊那谷風土記街道(伊那西部広域農道、伊那中部広域農道)を走り抜け、幅広い年齢層の利用があり、延べ519人(1日当たり約20人)が乗車しました。</p>	
8月 ～ 10月	<p>農業用水探検隊を開催 (農地整備課)</p> <p>小学生に地域の農業用水の役割を学んでもらうための『農業用水探検隊』を8～10月にかけて6回開催し、小学4年生延べ320人が参加しました。</p> <p>11年目となる今年は、南箕輪小学校、南部小学校、西箕輪小学校、西春近北小学校、辰野南小学校の5校が参加し、円筒分水工などを見学し、農業における水の大切さを学んでもらいました。</p>	
9月	<p>農業用水路を利用した小水力発電所が完成 (農地整備課)</p> <p>長野県が事業主体となり、伊那市富県に建設した「春富水力発電所」の竣工式が9月11日に行われました。</p> <p>県・市町村・改良区が農業生産基盤再生可能エネルギー研究会で検討し、県下に建設された小水力発電所では最大の出力を誇ります。</p> <p>発電の収益は、春富土地改良区で管理する頭首工や用水路の維持管理費に充てられ、施設の改修が進むことが期待されます。</p>	

9月	<p>「上伊那農商工マッチング交流会」の開催</p> <p>(農政課)</p>	<p>上伊那管内の農業者や食品関連事業者と連携して、地産地消・地消地産を推進するため、地域振興局、農業改良普及センター、中小企業振興センターとの共催による「上伊那農商工マッチング交流会」を開催しました。</p> <p>本年は、交流会の他、「農業者と飲食店の繋がり」をテーマとした講演会を開催し、また、昨年に引き続き、木曾・下伊那からの出展者もあり、新たに5件の取引が開始されています。</p>	
10月	<p>第48回衆議院議員総選挙、第24回最高裁判所裁判官国民審査の執行</p> <p>(企画振興課)</p>	<p>第48回衆議院議員総選挙、第24回最高裁判所裁判官国民審査が10月22日に執行されました。</p> <p>広報啓発活動を積極的に進め、管内投票率は66.77%と、県下第2位の結果となりました。</p>	
10月	<p>トークセッション「結いから生まれる新たな食文化」in 信州伊那谷ガレット・マルシェ2017の開催</p> <p>(農政課)</p>	<p>新しい地域食文化として「そばガレット」を提供している「信州伊那谷ガレット協議会」と連携したトークセッションを開催しました。</p> <p>「地域活性化・地域再生のプロフェッショナル」「信州伊那谷ガレット協議会」「ソバ生産者」「行政」がそれぞれの立場から、結びつき・繋がりによる情報発信の重要性について意見交換を行いました。</p>	
10月	<p>第34回上伊那郡市育樹祭の開催</p> <p>(林務課)</p>	<p>駒ヶ根市東伊那財産区有林において、10月31日に150名の参加者のもと、「第34回上伊那郡市育樹祭」を開催しました。</p> <p>育樹作業体験を通じ、多様な機能を有し貴重な資源である森林に感謝し、これを守り育て活かしながら次世代に引き継いでいくことの重要性を発信しました。</p>	
11月	<p>将来世代応援県民会議「上伊那地域会議」の設置</p> <p>(総務管理課)</p>	<p>「将来世代」である子どもや若者が心身ともに健やかに成長でき、幼少期から青年期まで切れ目なく社会全体で支え応援するための取組を地域で一層推進するため、11月6日、NPO、経済団体、市町村、県関係機関などによる「上伊那地域会議」を設置しました。</p> <p>今後、県が策定を進めている「子ども・若者支援に関する総合的な計画」等に基づき、地域の課題に応じた取組を進めていきます。</p>	
12月	<p>次期総合5か年計画原案を公表</p> <p>(企画振興課)</p>	<p>2018年から2022年までを期間とした総合5か年計画を多くの県民の皆様様の夢を集結したものとするために、市町村長や農業等各分野を担う方など幅広い県民の皆様との対話を行い、12月に計画原案を公表しました。上伊那地域では、「リニアの時代へ 世界とつながり豊かな暮らしが営まれる 伊那谷 (INA Valley) を地域のめざす姿としました。</p> <p>今後は、パブリックコメント等を踏まえた計画案を2月議会に提出する予定です。</p>	
12月	<p>「出張直売所 農産物産展 in 中日ビル」の開催</p> <p>(農政課)</p>	<p>地域が一体となった農産物発信スキルの向上を目的に、大芝高原味工房、南箕輪村農村青年倶楽部と連携し、名古屋市中日ビルにおいて、農産物産展を開催しました。</p> <p>200名を超える来場者に対面販売を行い、地域農産物のPRと中京圏の消費者ニーズの把握など貴重な情報発信・収集の機会となりました。</p>	
12月	<p>駒ヶ根市宮の前地区で水田の区画整理工事に着手</p> <p>(農地整備課)</p>	<p>長野県が事業主体となり、駒ヶ根市内で21haの水田の区画整理工事に着手し、12月10日には現地関係者による安全祈願祭及び起工式が開催されました。</p> <p>区画整理により、担い手農家への農地の集約化が図られることで、省力化・収益増加に結び付くことが期待されます。</p>	